

史料群番号 30

| | | | |
|-------|---|------------|-------|
| 史料群名 | さかもともへえ 坂本茂兵衛家文書 | 旧所蔵者 | 坂本茂兵衛 |
| 探訪時住所 | 茨城県稲敷郡古渡村下馬渡 | | |
| 現在の住所 | 茨城県稲敷市下馬渡 | | |
| 探訪年月 | 昭和26（1951）年12月 | | |
| 史料の年代 | 寛保1（1741）年～明治45（1912）年 | 史料の 総点数 | 179点 |
| 年代の内訳 | 近世 39点/近代125点/不明 15点 | 筆写稿本 | なし |
| 既刊行目録 | 「1953年11月 漁業制度資料目録 第9集 全国篇VI 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」「昭和五十年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録- 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」「平成十五年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-茨城県（霞ヶ浦・北浦周辺地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」 | | |

収蔵にいたる経緯

探訪の書類に寄贈と記されている。「漁業制度資料目録 第9集」に同家史料が掲載されており、現在中央水産研究所に収蔵されている史料と、その内容はほぼ一致する。おそらく、本史料群は探訪から現在に至るまで、史料の散逸、移動は生じなかったと考えられる。

史料群の概要

探訪地は、近世は常陸国河内郡下馬渡村で、明治22年に河内郡古渡村に含まれた。その後の古渡村の行政単位の変遷については、「永長栄三郎家文書」の「史料群の概要」参照。

坂本家は近世の下馬渡（しもまわたし）村において代々名主役を勤める家であった。史料の大半は質地証文、小作証文などの質地小作関係で、坂本家の地主経営の様子を知ることができる。天保2年「水行御用留」は幕府による大規模な水行直しの記録で、漁業に与えた影響も大きかったことが記されている。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

